

頻発する 風水害に備える

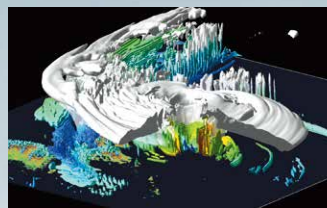
日時 2024年9月3日(火)
14:00 ~ 17:00

会場 新潟大学駅南キャンパスときめいと
(新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラカ1・2階)

内容

- 14:00 開会挨拶…新潟大学 学長 牛木辰男
- 14:05 基調講演…「地球温暖化と台風の将来変化」
名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授
横浜国立大学台風科学技術研究センター 副センター長
坪木和久
- 14:55 講演…「梅雨前線等による大雨と防災気象情報」
新潟地方気象台 台長 前多良一
- 15:20 …………… 休憩(10分) ……………
- 15:30 講演…「頻発する豪雨にともなう土砂災害」
新潟大学災害・復興科学研究所 准教授 渡部直喜
- 15:55 講演…「小岩内の奇跡はどのようにして起こったのか？
—県北豪雨の避難行動から学ぶ教訓—」
新潟大学災害・復興科学研究所 教授 河島克久
- 16:20 講演…「命を守る“防災の呼びかけ”」
NHK新潟放送局 副部長 佐藤俊吉
- 16:45 総括…新潟大学災害・復興科学研究所 所長・教授 卜部厚志
- 16:55 閉会挨拶…新潟地方気象台 台長 前多良一

ジェット機のキャビンから撮影した
スーパー台風 ランの眼内部(坪木教授撮影)



雲解像モデルCReSSで再現された
伊勢湾台風の立体表示(上陸12時間前)



雲解像モデルCReSSで再現された
今世紀後半のスーパー台風

近年、我が国では命の危険にさらされるような強い雨がしばしば発生しています。新潟県においても2022年8月3日から4日にかけて線状降水帯が繰り返し発生し、県北地域を中心に記録的な大雨となり大きな被害が発生しました。本年は、新潟県に甚大な被害をもたらした平成16年7月新潟・福島豪雨から20年の節目の年にあたります。本講演会では、集中豪雨や、地球温暖化に伴ってますます強さが増していくことが懸念されている台風などによる風水害のリスクに対して、その理解を深めるとともに、どのように備えていけばいいのかについて参加者の皆様と考えたいと思います。

申込方法
申込締切／2024年8月29日(木) 16時まで
メールにて、新潟大学災害・復興科学研究所
nhdr_office@gs.niigata-u.ac.jpまで
申し込んでください。
メールの件名／ 9月3日 防災気象講演会参加希望

メールにて、お名前、ご連絡先、ご所属、職名(学生の方は学年)をご連絡下さい(個人情報には本件以外に使用しません)。尚、オンラインでの参加をご希望の場合は、同メールで別途申し込みください。オンライン接続(Zoom)に関する情報を返信いたします。

参加費無料
対象者 会場定員
一般・学生 98名
どなたでもご参加いただけます。
定員になり次第締め切らせていただきます。
※オンライン参加も受け付けています。

主催：新潟大学災害・復興科学研究所 新潟地方気象台 共催：NHK新潟放送局

問い合わせ先 新潟大学災害・復興科学研究所事務室

電話：025-262-7051(代)
E-mail nhdr_office@gs.niigata-u.ac.jp

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。